

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	上溝高校本館	階数	地上3F
建設地	相模原市中央区上溝6丁目2714番1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域	平均居住人員	800 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	2,400 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年5月1日
敷地面積	7,605 m ²	作成者	株式会社 洋建築企画
建築面積	2,301 m ²	確認日	2013年5月2日
延床面積	5,173 m ²	確認者	株式会社 洋建築企画



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 76%
上記+ 以外の: 76%
上記+: 76%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他
高等学校本館棟の建て替えである。地域の景観に調和した建築とする。道路の面した部分には緑地帯を設け、周辺の環境に配慮する。建物は南側には深い庇を設け、西側には日除けルーバーを設ける。	0
Q1 室内環境 南側には深い庇を設ける。西側には日除けルーバーを設ける。従来よりも断熱性能を上げるにより、快適な室内環境となるよう計画する。	Q3 室外環境(敷地内) 庇、高木を多く植栽する事により、日影の形成に努める。植栽は既存の植生に合わせる。
LR1 エネルギー 高効率の電気・設備機器を使用し省エネルギーに努める。	LR3 敷地外環境 雨水は貯留後地下に浸透させて、敷地に降った雨を地面へ帰す。振動・騒音・風害・光害の抑制に努める。
Q2 サービス性能 設備電気の配管経路はビットやPS・EPSを設け、維持管理や将来の更新がしやすい様に計画する。	
LR2 資源・マテリアル 環境負荷の小さい材料を積極的に使用する。又、有害物質を含まない材料を使用する。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される